

日中友好新聞

府連通信

2013年10月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@j
t8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/

尖閣問題賛同署名とメッセー 一日も早い正常化と平和的解決を

各界アピール署名は国会に提 小林宏至大阪府立大学名誉教授
出する「署名」ではなく、世論づ 平和友好条約の精神を大切に
くりのため国民の声を大きくし 尖閣問題の解決をはかり、未永
ていくことが目的です。大阪府 い友好・交流を続けましょう」
連に寄せられた署名の一部をご 浅田勝美・美奈子日中友好交流
紹介します。さらにもっと大き 「領土問題でも憲法九条の精神
く広げて日本政府や中国政府に を生かして、平和的話し合いで
「申し入れ」を行ない「速やかな平 解決への努力をすべきです」
和的解決」を求めてゆきます。 山本晴義大阪経済大学名誉教授
賛同署名にぜひご協力下さい。 「研究会・文化運動を通じて協

平山武秀日本基督教団牧師

力しております

「この困難な問題が平和裡に解 重森暁大阪経済大学名誉教授
決されて、長い歴史をもつ中国 「中日両国の持続的な友好関係
と日本の関係が1日も早く正常 を心から願っています」
化されるように切に祈ります」 上島武 島本町在住「尖閣は日本

西支部定期総会開く

西支部定期総会が部への平和ツアー参
府連新教室で二二名 加者から、苦勞して
が集まり、太極拳教 日本へ引き揚げた経
室の模様や、水餃子 験が報告され参加者
教室、きりえ教室な も感慨深く聞き入り
ど、この一年間を振 ました。
り返り、会員を六〇 一品持ち寄り懇親
台後半へ増やそうと 会は、初参加者を囲
討論が弾みました。 んで話が盛り上がり
二度目の中国東北 ました。



来賓挨拶は松尾豊大阪府連理事長

第一回中国百科検定 三月に大阪市で開催

来年三月二十一日(祝)三時か
ら、天六・関大校舎で、第一回
中国百科検定が行なわれます。
全国三か所同時開催で、受験
コースは三級(ものしりコース)
です。今回は三級の実施で、
受験料は三四〇〇円です。
中国百科検定の試験出題内容
は、公式テキスト「中国百科」
を基本範囲として、地理、歴史、
政治経済、文化の四分野から出
題されます。
問題形式は全六〇問で四者択

中国百科検定公式テキスト
(二九四〇円)は府連事務所に
あります。
中国百科検定公式テキスト
http://www.jcfa-net.gr.jp/
kentei/



中国百科検定

11月19日(火) 開場18:00 開演18:30
京劇神戸公演 神戸文化ホール(中ホール)

JR神戸駅北へ10分、

神戸地下鉄大倉山駅すぐ

料金:一般前売券4,000円

(当日4,500円)中学生以下無料

主催:北京風雷京劇を観る会

後援:中華人民共和国駐大阪総領事館、兵庫県、神戸市、

神戸華僑総会、神戸新聞社、サンテレビ(申請中)

チケットは大阪府連事務局で取り扱っています。



秋の中国語講座へどうぞ

中国語教室はグランフロント北館東側に移転しました、
ヨドバシカメラ北側、東洋ビル本館205・305号室です。
親切丁寧な授業が特徴です。途中入学もOKです。

10/7~3/24 週一回・2時間授業・20回

初心者から上級まで20数クラス有ります

入学金:18,000円、受講料:48,000円

夏期・事務所移転募金

ありがとうございました

大阪府連の募金へのご協力ありがとうございました。
9月末現在、4団体と60名から198,760円の
募金が寄せられました。

夏期・事務所移転募金に引き続き取り組んでいます
ので、ぜひ募金にご協力下さい。

振り込みは、ゆうちょ銀行408普通預金1936731へ

質問に答えるシリーズ③

山本恒人

貧困克服のための中国の一貫した努力

貧困克服と経済格差

底上げと経済格差

拡大の同時進行

不破哲三さんは質問に答えるシリーズ②で紹介した発言の次の文節で、「貧困削減という底上げに大きな成功をおさめても、その一方で、富める層と貧しい層との間の格差は拡大してきました。中国経済を見る時、この経過と結果の全体を、私たちはよく見る必要があります」と、指摘しています。

不破さんは続編の中で、市場経済では貧富の格差の拡大は避けがたいが、その対応措置として「税金による所得の再分配」と「社会保障などのセイフティネットをつくってゆく」ことの重要性を指摘し、「社会主義をめざす国だからこそ、中国は日本でもアメリカでもない、これだけのことをやっているという実績を生み出せるはずだ」と強調しています。

＊不破哲三『激動の世界はどこに向かうか―日中理論会談の報告』新日本出版社2009年。

不破さんの指摘していることは、「貧困削減による底上げ」が続いていけば、いずれ貧しかった地域も北京・上海・天津のようなレベルになり、経済格差は消滅するというような楽観論ではなく、経済格差もまたそれを是正していくための独自の対応が必要だということなのです。

市場経済がもつ不安定性が貧困を再生産する可能性にも注目しなければなりません。

中国における貧困の再生産

農村における貧困という点、辺境地域や山岳高地など劣悪な自然条件にある地域、少数民族地域がクローズアップされがちですが、農村一般地域における貧困の再生産にも着目しなければなりません。

中国の農村土地所有制度は「集団的土地所有」という不安定な制度です。本来的には個々の農民の集合体としての土地所有という意味ですが、現実にはその集合体は村民委員会であったり、郷鎮企業であったり、協同経営体であったりするわけです。

往々にして、農民全体の意

思とは別のところで、集団を僭称する一部の人が地方政府や企業体と結託して土地収用や売却が行われます。そこでいつの間にか耕作地を取り上げられる農民が生まれるのです。

今、土地を失った失地農民は4000～5000万人に達しており、今後2030年までに一億1000万人に達すると見込まれています。＊。論理的には、彼らは都市化の波に吞まれていくという想定ですが、失地農民の多くは就業が困難で、社会保障にも恵まれない状態にあります。

そもそも、土地譲渡金は地方政府の予算外収入の主要ルートであり、低価格で収用され、開発によって生み出された利益は十五兆元にも達していますが、そのうち補償金として農民の手に渡ったのは5%に過ぎないと言われています。

＊『2011年中国都市発展報告』

中国社会科学院

都市でも貧困の再生産はあります。1990年代末の国有企業改革で断行された前代未聞の「リストラ・プロジェクト（再就業工程）」によって、約3000万人が国有企業従業員という地位を失いました。

困難に伴い、転職に成功する場合もほとんどが非正規就業で、農民工の大量流入と並んで、中国の都市に非正規就業群を拡大することになりました。

所得再分配制度がスタートラインに

農村にも都市にも貧困が滞留していること、その一方で税負担も保険料負担も相対的に軽く、場合によっては不正も絡んだ富豪や富裕層がますます富を集中していること、さらに分断的戸籍制度など未だに制度的障害が残存していることによって、経済格差が高止まりし続けているのです。

経済格差を表すジニ係数（0～1の間の数値で1に近づけば近づくほど経済格差が大きい）は、国家統計局公表の数値で2012年0.474、西南財経大学・人民銀行金融研究所調査では0.61という信じがたいものです。

世界銀行が2008年発表した中国の2004年ジニ係数は0.469ですが、ジニ係数の高さという点では、中国は135か国中36番目に高い国になっています。世界銀行2008年統計では、中国の所得分布は上位20%が全所得の50.1%を占有しており、下位20%は全所得

のわずか4.3%を分け合っていることが示されています。

中国政府はこのような状態を改めるために「所得再分配制度」の導入の必要を痛感し、改革案を何度も俎上に上げてきました。既得権益層の抵抗によって挫折してきました。2013年2月ようやく国務院は「所得分配改革」方案にゴーサインを出すことができました。財産税・累進課税の導入や、農民・労働者の所得引上げを内容とする新制度が具体化するのはまだこれからです。

中国共産党第十八回大会の開会日2012年十一月十八日に、NHKの「クローズアップ現代」は中国全土で年間二十一万件の騒擾事件が発生していると、報道しました。その中心は、土地取り上げに抵抗する農民のかかわる事件、次いで環境破壊に抵抗する市民による事件や労使紛争です。

中国の庶民はすでに問題の所在を知り抜いているのです。貧困克服、経済格差是正に向かって、中国政府と国民がこれまでにも増して大きな努力を傾注することを期待するとともに、日本の私たちもその努力に学び、交流を深めていきたいものです。